

実務研修報告書（様式例）（救急看護分野）

1. 実務研修施設

(西暦)	1-1) 全実務研修期間および実務研修施設名 (所属施設名、職位)
2000年4月～2005年2月 (60ヶ月間)	所属施設名：〇〇〇〇〇〇〇大学病院 職位：スタッフナース
2005年3月～2007年2月 (24ヶ月間)	所属施設名：〇〇〇〇〇〇〇大学病院 職位：主任
合計	53ヶ月間
1-2) うち認定看護分野歴 (所属施設名、所属部署名、職位) ※所属部署名については、初療やICU部門における分野歴がわかるよう記載する。	
2000年4月～2001年3月 (12ヶ月間)	所属施設名：〇〇〇〇〇〇〇大学病院 所属部署名：ICU病棟 職位：スタッフナース
2001年4月～2005年2月 (48ヶ月間)	所属施設名：大学病院 所属部署名：高度救急救命センター 職位：スタッフナース
2005年3月～2007年2月 (24ヶ月間)	所属施設名：大学病院 所属部署名：ICU病棟 職位：主任
	53ヶ月間

2. 認定看護分野歴における実務研修施設 概要

(最低3年間の認定看護分野歴における施設の実績について記載。施設が複数の場合、施設ごとに実績を記載する。)

(救急看護) 分野における実績：施設名(〇〇法人〇〇会〇〇病院)

2-1) 当該分野に関する患者の年間症例数	(例：救急看護を受ける患者 100例/年)
2-2) 「救命救急入院料」の有無 ※無の場合のみ救急外来または専門病棟の有無を記載する。	(例：「救命救急入院料」：無、※救急外来：有)
2-3) 当該分野の認定看護師及び当該分野に関連する認定看護師・専門看護師の人数とその分野名称 ※上記該当者が無い場合のみ、受験申請者自身が当該分野の実務研修において主に指導を受けた人を記載する。	(例：救急認定看護師：無、集中ケア認定看護師：無、小児救急認定看護師：無、重症患者看護専門看護師：無、実務研修指導者：教育担当師長、救急看護分野における経験5年以上を有する主任等)

2-3) については、認定看護師等の有資格者から直接指導を受ける機会があることが望ましいが、ない場合には部署の師長か主任等で分野の経験の5年以上あるものから指導を受けたことを記されるか、あるいは施設外の認定看護師からの指導があった場合はそれを記す。

3. 実務研修の実績 概要

上記1-2)で記載した期間、初療においてCPA・重症外傷・意識障害・呼吸不全・循環不全・中毒・熱傷患者の看護を担当した事例数(概算)：通算()例

※担当した事例とは、継続的・中心的に患者に関わった事例とし、5例以上あることを確認する。

【教育機関チェック欄】

免許取得後、通算5年以上実務研修をしていること。

上記の実務研修期間のうち救急部門での3年以上の実務研修をし、少なくとも初療で6ヶ月、およびICU(必ずしも救急ICUでなくてよい)で2年の実務研修をしていること
初療において、CPA・重症外傷・意識障害・呼吸不全・循環不全・中毒・熱傷患者の看護の中から5例以上担当していること
現在、救急部門で勤務していることが望ましい

(認定看護師教育課程は、入学要件として、上記の実務研修に関する要件を満たしているか入学時に審査すること)